

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和 7年11月26日

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山倉 修一 殿

学校名	みやこ町立伊良原中学校
報告者	教頭 田中 美保 (連絡先 TEL : 0930-43-5008)
寄贈品	生物顕微鏡 理科実験観察撮影装置 コンパクトスタンド 電子黒板専用ワイヤレスドングル
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	<p>○生物顕微鏡 使用者 1, 2, 3年理科担当教師 5, 6年理科担当教師 3, 4年担任 (総合学習)</p> <p>使用内容 ①生物の観察 5, 6年 (ミクロの世界への導入) 肉眼⇒実態顕微鏡⇒生物顕微鏡とより細部まで見えたり、実際の動きを観察できる顕微鏡に触れさせ、生き物への感動を味合わせる。</p> <p>②生物の細胞の観察中学生 細胞や細胞の動きを観察し、生きた細胞の活動を実感させる。</p> <p>使用頻度 学期に1回程度 (続けて1週間ほど)</p> <p>○理科実験観察撮影装置・コンパクトスタンド 使用者 1, 2, 3年理科担当教師</p> <p>使用内容 ①観察実験の手順を事前に録画しておき、生徒が動画を繰り返し見たり停止したりしながら実験を行うことができるように準備を行うことができた。</p> <p>②生徒が設定したテーマ観察結果 (川の中の生き物、植物の細胞、ヒトの細胞等) を高精細な画像と動画で記録する。</p> <p>③生物顕微鏡に取り付け、コンパクトスタンドに固定し、観察するものをPCやタブレットの画面に映し出す。</p>

	<p>(オンライン参加の生徒とも共有)</p> <p>使用頻度 学期に3回程度</p> <p>○電子黒板専用ワイヤレスドングル</p> <p>使用者 全職員 全生徒</p> <p>使用内容 ①各クラスで発表をする時に徒用タブレットに接続し、画像や動画を電子黒板に簡単に表示することができた。</p> <p>②教師の提示したいものを無線でつなげるので、机間巡視しながらの操作に役立った。</p> <p>③総合的な学習の時間の発表を地域の方に行う際、体育館等の広い場所でプレゼンを数台の電子黒板に写すことができた。</p> <p>④講演会の講師プレゼンを電子黒板に写す時にも使用した。</p> <p>使用頻度 常時</p>
<p>申請当初の目的達成状況</p>	<p>達成できた。申請当初の目的である総合的な学習の時間や理科の学習の時間に生き物の観察を行い、動画に取ることで発表に役立てることができた。また、電子黒板に観察物を映し出してみることができるので、オンライン参加している生徒も同じ画面で実験を見ることができ授業参加することができた。</p>
<p>教育的効果について所見等</p>	<p>○パソコンにつないでマクロ撮影ができることや、その様子を保存できることで、小さな世界の細部まで見ることができた。</p> <p>○観察、実験の動画保存ができるので、繰り返し見ることができた。</p> <p>○複数人で画面を通してみることで、顕微鏡を覗き込みながらの時間彩圧迫感がなく、オンライン参加の生徒とも同時に対象物の観察ができた。</p> <p>○ドングルを使うことでそれぞれのパソコンの様子を電子黒板に映し出すことができ、発表時に役立った。</p>

活用状況の写真等（当日の様子など）



顕微鏡で撮影したものを提示し教室で確認

地域への総合的な学習の時間の発信

今後の活用見通し・課題

今後も積極的に活用し、実践を増やしていきたい。小学部も中学部の備品を使うことができるので生物顕微鏡、理科実験観察撮影装置、コンパクトスタンドについては、小学部教員も使い方を知り、使える場面を増やしていきたい。電子黒板とドングルは全員よく使用しているので今後も活用していきたい。